

『建設技術セミナー2025』（11/28）受講確認シート集計結果

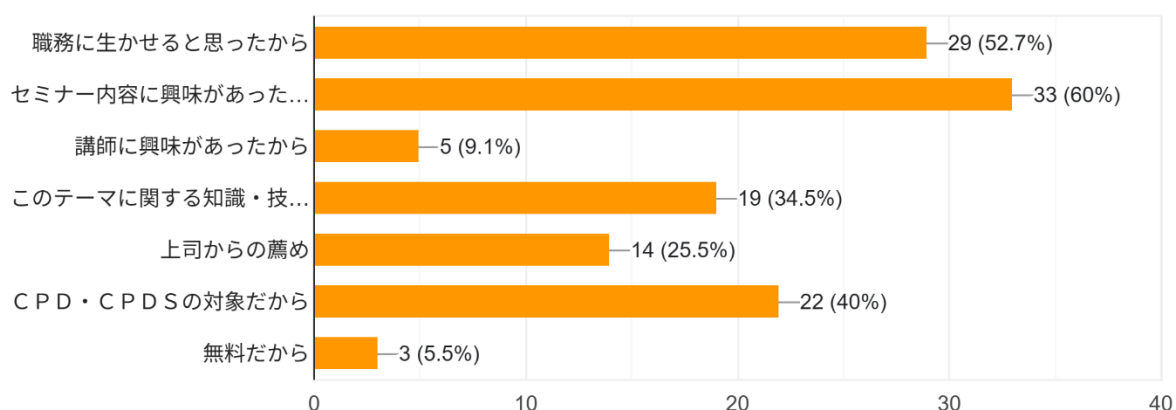
1. 参加状況

区分	申込み	参加者	出席率
県	18	16	88.9%
市町村	2	2	100.0%
建設業	33	32	97.0%
コンサル業	17	17	100.0%
その他	5	5	100.0%
計	75	72	96.0%

2. アンケート結果

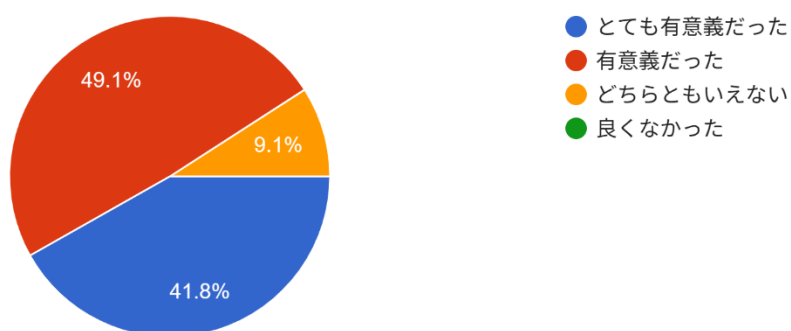
今回のセミナーに参加した動機は何ですか（複数選択可）

55件の回答



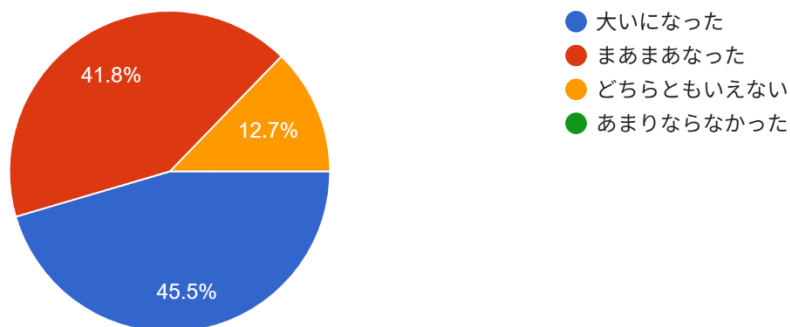
このセミナーは有意義でしたか

55件の回答

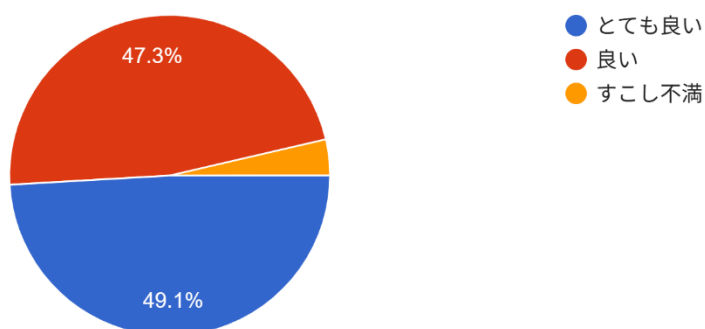


『建設技術セミナー2025』（11/28）受講確認シート集計結果

このセミナーは今後の仕事の動機付けになりましたか
55件の回答

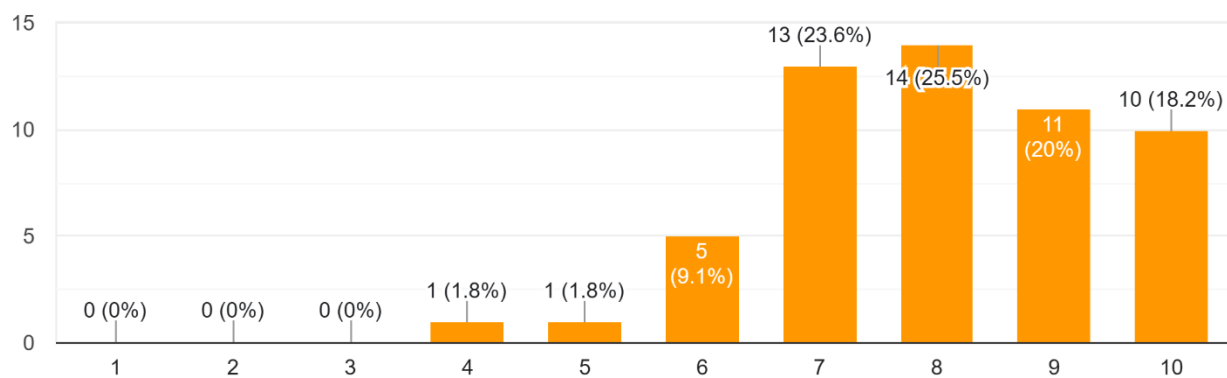


講師について意見がありますか
55件の回答



◇ 評価 AVE : 8.0

このセミナーを評価すると、10点満点で何点ですか
55件の回答



『建設技術セミナー2025』（11/28）受講確認シート集計結果

評価した内容について理由があれば記入下さい

- 生成 AI そのものの功罪が不明確なルールが定まらない状況で、やったもの勝ち的な社会になるのは困る。
- 必要性を感じた。若い人に任せるのではなく、ベテランが積極的に活用して変えて行く必要があるのですね。
- 生成 AI に特化しても良かったような気がするため
- 現場をよく知っている方に講師をして頂くことがとてもありがたいことだと実感した
- 個の技術者の技術力向上には結びつきが薄いように感じた。
- 興味はあったが更に学びの必要性を動機付けられました
- 聞きやすく、非常に興味がでた。
- 大変参考になりました
- 講師が現場を踏んだ方で、理想論では無かったこと
- 生成 AI についての概要がよくわかる内容だったから
- メリットとデメリットについてはっきり発言されていて良かったと思う
- たとえを出して IT 弱者にもわかりやく説明があった
- 大変勉強になったため。

☆ このセミナー全体を通じて感じたこと、要望、提案等率直な意見を記入してください

- ただ聞くだけではなく、何かしらワークがあるといいかなと思いました。素晴らしい講師の方々がいるので、ただ聞くよりかは一緒に考えるとか。
- 業務効率化が叫ばれる中で、どうして主催者の開会あいさつと閉会あいさつを省略できないのか、いつも不思議に思います。文字起こしして A4 一枚挟んでおけば済むことでは？
- 「建設現場の DX マネジメントと生成 AI 活用」の見出しであったので、現実の建設現場での具体的な活用状況等の話題が欲しかった。
- 日進月歩の技術につき来年度も是非同じテーマでお願いしたいです。
- リモート参加も可能にしていきたい
- 人にしか出来ない事がたくさんあると思います。その中でバックグラウンドでのオートメーション化やデータ化が進んで、我々本来の業務に打ち込める体制を確立して、モノ創りに魅力を与え、担い手確保に寄与されることを期待したい。
- 時代がどんどん進んでいっていることを強く感じました。
- もっと聞きたいです
- 通常 GIS に係る業務をしておりますが、少し関連していることが見えた講習会でした。
- AI について深く知れる会があるとありがたいと思いました。

『建設技術セミナー2025』（11/28）受講確認シート集計結果

☆ 今後のセミナー・講習会に取り入れてほしいテーマ・内容等があれば記入ください

- 働き方改革や担い手確保の取り組みについて
事例紹介
例)宇都宮国道 「猛暑を避けた働き方改革・担い手確保」の取組
キャリアアップシステムに係る事について
担い手確保が課題になった理由 etc….
- 生成 A I のより専門的な講習会。
- 特にありませんが、広く取り入れて下さい
- 生成 AI についての実践講習
- 災害事例から学ぶ安全対策
- 現場での、施工実体験
- D x やドローン関連。工事関係の法令と安全にかかわること。

☆ 今回のセミナーに限らず、今後「島根県建設技術センター」に取り組んで欲しい施策や開催して欲しいイベントがあれば記入ください

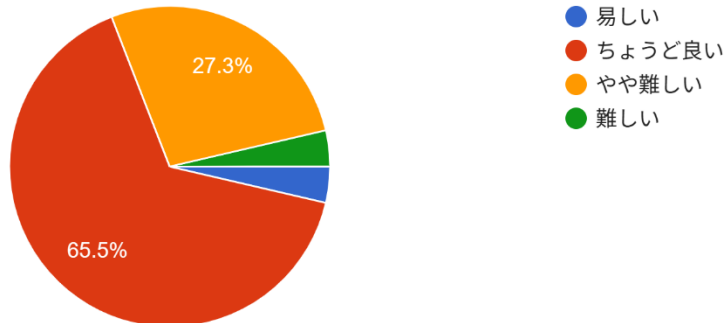
- しまね建設産業イメージアップ女子会コラボでイベントしていただけると嬉しいです！
- 個の技術者の技術力向上に結び付く講習の開催を望みます。
- 特にありませんが、広く取り入れて下さい
- 生成 AI についての実践講習
- 今まで通りでいいので続けてほしいです。受けたくても受けそびれた講習もありますので。
- 開催が木曜日に集中している、開催曜日をばらしてもらうと参加しやすくなると思います
- このような形でありがたいと思います。

『建設技術セミナー2025』（11/28）受講確認シート集計結果

「建設現場のDXマネジメント」について

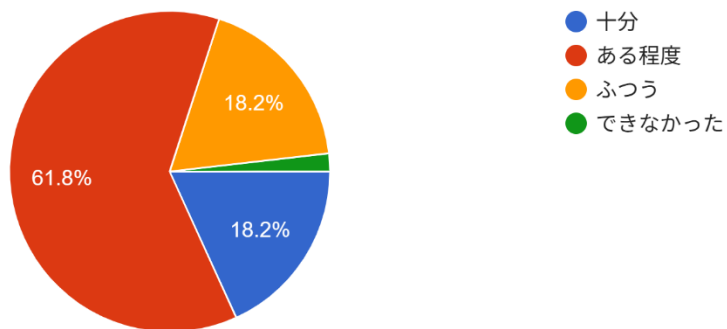
「建設現場のDXマネジメント」の講義水準はどうでしたかしたか

55件の回答



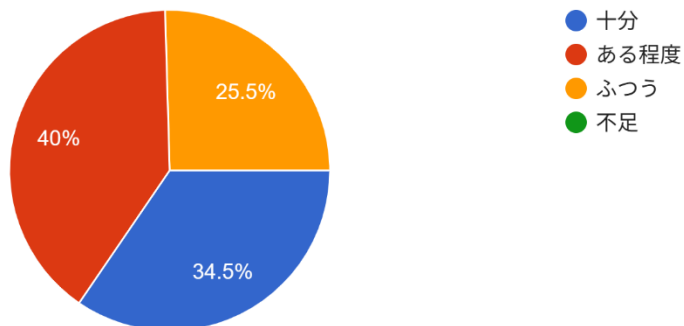
「建設現場のDXマネジメント」の内容について理解できましたか

55件の回答



「建設現場のDXマネジメント」のテキストなど、教材の内容は充実していましたか

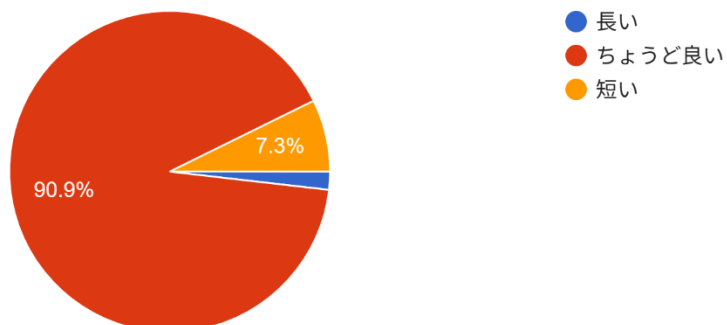
55件の回答



『建設技術セミナー2025』（11/28）受講確認シート集計結果

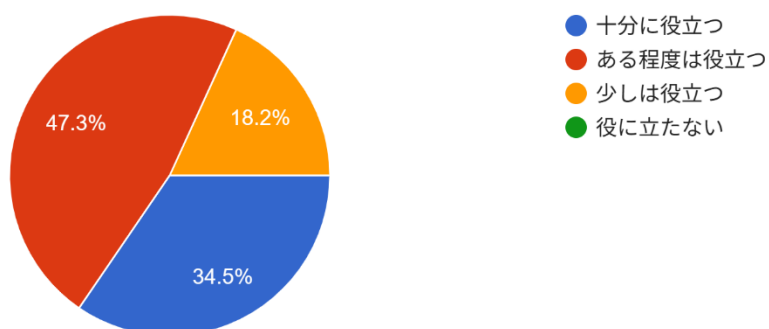
「建設現場のDXマネジメント」の講義時間は十分でしたか

55件の回答



「建設現場のDXマネジメント」は今後の仕事に役立ちますか

55件の回答



凡例：質問事項

要望事項

『建設技術セミナー2025』（11/28）受講確認シート集計結果

「建設現場の DX マネジメント」 の意見・感想・要望・質問があれば記入ください

- リーディングカンパニーのスーパーゼネコンは、「建設現場の DX」をどう変革しようとしているか、ご存知の範囲でご紹介いただけないでしょうか？

- 入門、初級、基本という感じ
- DX とは、
- 自社でやってる DX はデジタル化して終わってるだけで、ほんとうの DX にはなってないなと痛感した。

なんちゃって DX で終わり、進まないのは障壁があり、それを打破する手立てがないからですが、テキストに書いてあった費用対効果の算出を手本に、社内の費用対効果についてメリットを書き出し、壁を取り払っていただければいいなと思いました。

- 建設業に携わっていらっしゃる方に講師をして頂いたので、今まで聞いてきたどの講義よりも理解が進んだ
- 「建設業の組織の壁」の内容がありました。建設業界では取り払うのには相当の時間が必要であろうと思います。
- とても共感できました
- 非常にためになる
- DX の必要性が良くわかりました
- 理解はできているが、横文字が多くその都度頭が止まってしまいました。
- d x で何ができるか、の話があるかと思いきや具体的話はあまりなく、逆に事務作業的なものは何でもできるのだということがわかった。
- 建設現場の DX は現在停滞してきたように感じますが、生成 AI を組み合わせることなどで更に進んでいくと感じました。
- 現場に反映させる必要がある
- 私は建設コンサルタントで設計業務に従事していますが、正直 DX が浸透していると感じていません。私も含めてほとんどの人はそもそもどういうものか理解しておらず、感度が低い状況です。

基準書の本棚から探し、その本の中から必要な情報を探し、なかったらまた別の本を探しそれを繰り返す、会議室に集まって紙の図面を広げて議論する、エクセルのマクロで作成された計算書を印刷して手計算でチェックするなど、まだそれが当たり前だと思っているのが現場ですし、発注者はそれを求めています。

それに対して問題提起してイノベーションを起こそうとする方が労力がかかりますし、前例踏襲的な文化があります。そのような組織の中で DX を浸透させることはとても難しいと思いますが、まずは個人レベルで身近なところから取り組むことが大切だと感じました。

今までのやり方に疑問を抱き、より効率的な仕組みを構築するという意識を持ち、日々の業務に取り組みたいです。

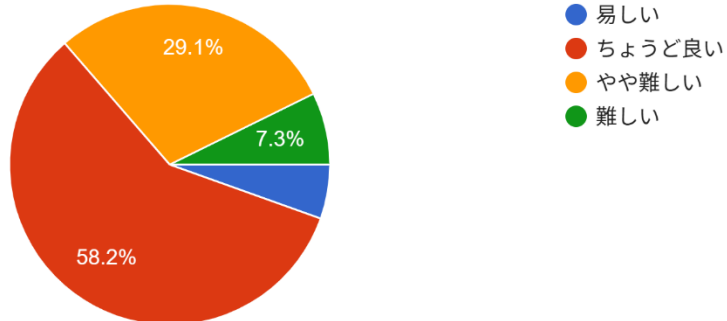
- 会社の方向性が真逆で今後廃れる運命ということかー、と少し背筋が凍る思いがしました。自分に何ができるか考えると、会社と対立する絵しか想像できませんが、今後いい方向に向かえる様、考えていきたいと思います。ご忠告ありがとうございました。

『建設技術セミナー2025』（11/28）受講確認シート集計結果

☆ 「生成 AI 建設未来講座」について

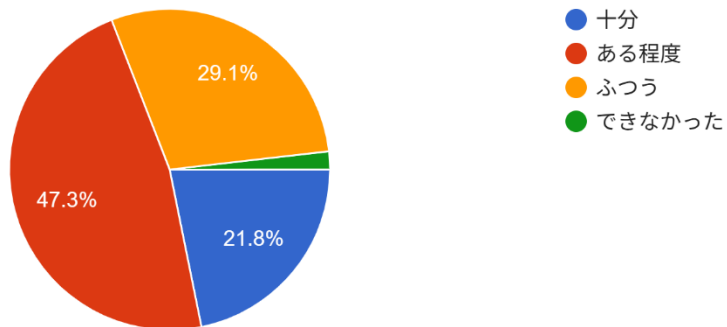
「生成AI建設未来講座」の講義水準はどうでしたかしたか

55 件の回答



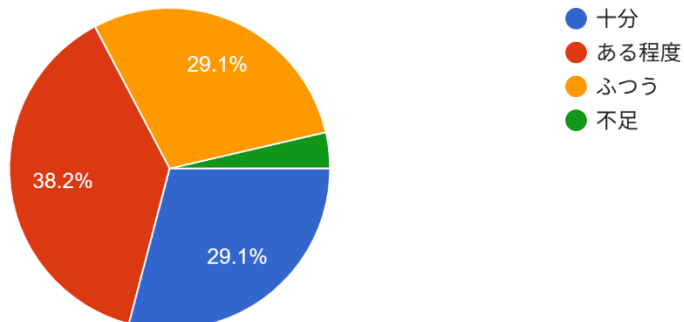
「生成AI建設未来講座」の内容について理解できましたか

55 件の回答



「生成AI建設未来講座」のテキストなど、教材の内容は充実していましたか

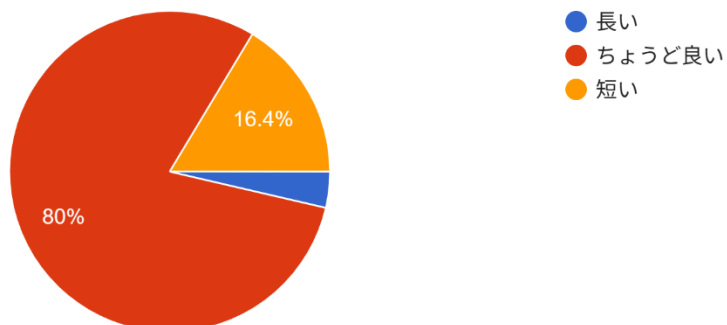
55 件の回答



『建設技術セミナー2025』（11/28）受講確認シート集計結果

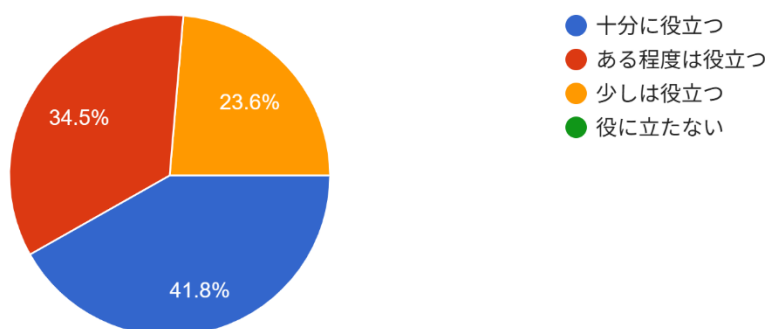
「生成AI建設未来講座」の講義時間は十分でしたか

55件の回答



「生成AI建設未来講座」は今後の仕事に役立ちますか

55件の回答



『建設技術セミナー2025』（11/28）受講確認シート集計結果

「生成 AI 建設未来講座」 の意見・感想・要望・質問があれば記入ください

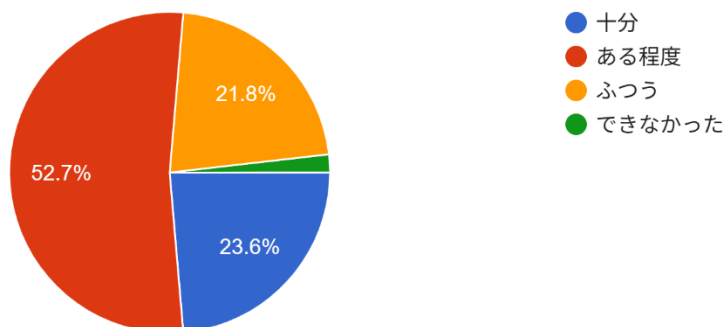
- 生成 AI を利用する場合の留意点(リスク)があればご教示をお願いします。
- 早く生成 AI に向かわなければ、と思いました。
- 長田さんの講座は聞いていてとても楽しいので、毎回受けていて面白い、学びがあります。 弊社はなかなか企業としての AI 導入が進まないで、どうにか経営者層を巻き込んで進めていけるように頑張ろうと思いました！
- もう少し深掘りして生成 AI の講義を聞きたかった
- 導入に踏み切る準備と覚悟が社内関係者に必要ということが判ただけでも良かった
- 地方の企業でも(講習では 150 人以下の中小企業と表現)経営者のトップダウンで進めやすいとの意見でしたが、小規模企業でも、そんなに簡単なものではないように感じました。
- 生成 AI について、毎週のように進歩があるとのことで、その情報自体はどのように収集されているのでしょうか。また、生成 AI の進歩が頭打ちとなる時は来るのでしょうか。
- 目からウロコでした。たいへん為になりました。
- 聴き応えがあり、興味深い
- AI について知識が不足しており、参考になりました
- 今後、益々 AI を使用していかなければならないなと危機感を覚えました。
- 建設業界、(コンサルも含め)大きく省力化が可能であることが分かった
- 生成 AI はこれから先に欠かせない技術なので、すぐに取り組む必要があるとあせりを感じた。
- 受講者側の知識レベルが低いため、内容が高度で理解が困難だった
- 人間の恣意的な部分をどう反映させるかが進展につながる
- 生成 AI は人を映す鏡という言葉に感銘を受けました。使いこなすまでに少し時間がかかるかもしれませんが、オーケストレーション型の AI エージェントという理想形に近づけるよう努力したいと思いました。
- AI についてやらなければならないと別のイベントで思いました、書籍を購入して満足してしまっただけでまだ何もしていませんでした。これから取り残されないよう、精進したいと思います。大変勉強になりました。ありがとうございました。

『建設技術セミナー2025』（11/28）受講確認シート集計結果

☆ 「パネルディスカッション」について

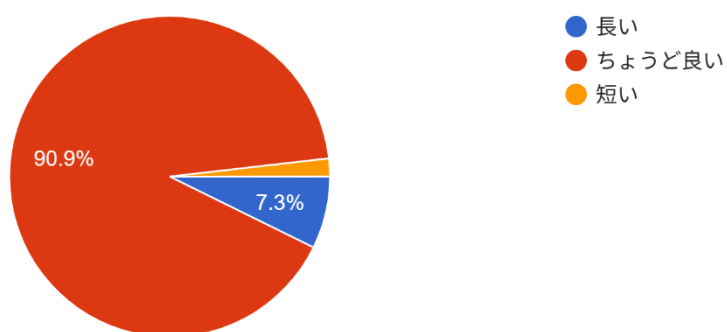
「パネルディスカッション」の内容について理解できましたか

55件の回答



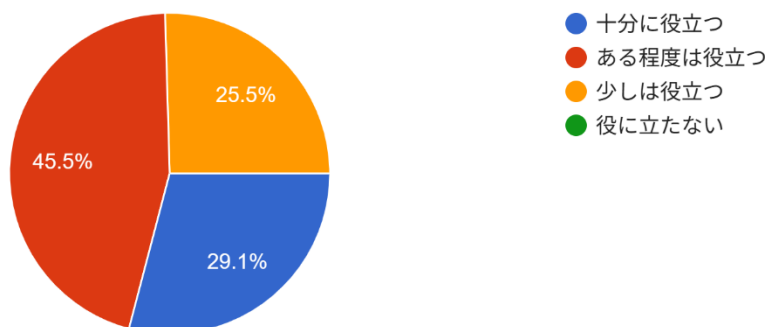
「パネルディスカッション」の時間は十分でしたか

55件の回答



「パネルディスカッション」の内容は今後の仕事に役立ちますか

55件の回答



『建設技術セミナー2025』（11/28）受講確認シート集計結果

「パネルディスカッション」 の意見・感想・要望・質問があれば記入ください

- とても面白いやり取りでした
- わかりやすくてよかった。
- 三名の方の意見は、とても参考になりました
- 人間にしか出来ない五感に共感しました。
- コディネーターの適切な仕切りで飽きさせない展開で良かった
- すこしずつでも生成 AI を利用していきたいと思います。
- 講習参加して初めての講義形式であった、非常によかった
- 有意義だった
- 言葉が的確・適切で自身の頭に定着した。ありがとうございました。

建設技術セミナー2025「変革 明日の建設業」 質問票

項目	「建設現場のDXマネジメント」	
講師	SHINEBE代表 株式会社Maime 技術統括 科部 元浩 氏	
①	質問者	受講番号 6
	質問	リーディングカンパニーのスーパーゼネコンは、「建設現場のDX」をどう変革しようとしているか、ご存知の範囲でご紹介いただけないでしょうか？
	回答	<p>スーパーゼネコンは、人手不足、高齢化、俗人化、生産性の低さなどからDXを進める必要があると考えています。その中で、設計から、施工、維持管理を変革し、つなげていく取り組みが行われ始めています。</p> <p>竹中工務店さん、BIMを軸に設計と施工の一体化。ドローン+AIなど。</p> <p>鹿島建設さん、自立施工建機、建設ロボットなど</p> <p>大林組さん、ウェアラブルでの監視、資材管理のブロックチェーン</p> <p>清水建設さん、デジタルの一本化「つくる・使う・管理する」</p> <p>大成建設さん、現場ICT基盤(ネットワーク+データ収集)を標準化など、です。</p> <p>ロボット化、自動化による省人化の取組、デジタルのタイムリーな可視化、一元管理などを行うことで、人手不足を解消し、俗人化を防ぎ、生産性を向上させてようとしています、</p>
項目	「生成AI建設未来講座」	
講師	対話診断オフィス 代表 長田 将吾 氏	
②	質問者	受講番号 6
	質問	生成AIを利用する場合の留意点(リスク)があればご教示をお願いします。
	回答	<p>ChatGPTやGeminiには、開発モデルの改善のために学習に協力するかという選択肢があります。デフォルトは協力することになっていますので、何も設定しないと入力データがそのまま学習に使われてしまいます。必ず設定は確認してください。</p> <p>しかしながら、OpenAIなどで情報漏えい事件も発生しており、生成AIは一般的なSaaSより攻撃対象になりやすい傾向があります。上記の設定を行ったとしても、大事な情報は絶対に入力しないと意識しましょう。</p> <p>もし、どうしても入力したい場合は、個人情報の箇所は削除したり、データの名称を変更したり、厳重な対策をとってください。</p>
③	質問者	受講番号 54
	質問	生成AIについて、毎週のように進歩があるとのこと、その情報自体はどのように収集されているのでしょうか。また、生成AIの進歩が頭打ちとなる時は来るのでしょうか。
	回答	<p>生成AIの最新情報を追うには、まず速報性が最も高いXが最適です。自分の興味関心と合う方をフォローすることをお勧めします。</p> <p>次に、理解しやすい形に整理された二次情報としてYouTubeが有効で、特に「いけともチャンネル」は毎週日曜に1週間の動向を1時間でまとめてくれるため非常に便利です。</p> <p>また、より具体的で実務に使える二次情報としては、noteやZennの解説記事が役立ちますので、参考にいただければ幸いです。</p>



